



Group Mission: Engineering for Sustainable Growth of the Global Community
Group Vision : Global Leading Engineering Partner
Group Values: Integrity, Creativity, Diversity, Learning, Team

経営方針

2011年3月期 第2四半期決算説明会

2010年11月11日

取締役社長 山田 豊

 東洋エンジニアリング株式会社

1. 下期経営課題
2. 上期受注概況
3. 年度受注目標
4. 市場環境と注力分野
5. 受注力強化
6. 成長に向けて

◎ 今期受注目標の達成

◎ 更なるグローバル化の推進

2. 上期受注概況

◎上期受注額： 621億円

◎主な受注案件：

ブラジル(FPSO)、ブラジル(石油精製)、
キューバ(肥料)、日本(医薬、原子力関連)

◎上期からの期ずれ案件含め、下期にアジア、南米
で有力案件

3. 年度受注目目標

◎ 連結受注目目標額: 2, 800億円



4. 市場環境と注力分野(1)

◎中国・東南アジア・インド:

世界経済の牽引役、人口増

⇒ 内需拡大で石油化学案件、社会インフラ案件

- ・中国:石油化学(主として機能化学品)
- ・東南アジア:石油精製、石油化学、肥料
- ・インド:石油精製、石油化学、肥料、社会インフラ

4. 市場環境と注力分野(2)

◎米州:

原油価格80ドル前後で高値維持

⇒ 資源開発の再活発化

- ・ブラジル:FPSO、石油精製、社会インフラ
- ・カナダ:資源開発(オイルサンドを含む原油の確認埋蔵量はサウジに次ぐ世界2位)

◎中東・アフリカ:

MENA(中東・北アフリカ)は有望市場だが、韓国、中国に加え欧州勢との競争も激化

⇒ 顧客、分野に基づく戦略的な案件の絞込

- ・石油化学、井戸元

4. 市場環境と注力分野(3)

◎ロシア・CIS:

成長潜在力はあるも経済回復は緩慢

⇒ 東シベリア・極東の開発期待はあるが、今暫く時間が掛かる

- ・資源開発
- ・社会インフラ、特に発電

◎日本:

グローバル化の進展で国内の産業構造も大きく変化

⇒ 石油・石化分野の大きな投資は期待出来ない

- ・日系企業の海外投資案件
- ・医薬、原子力関連分野

5. 受注力強化

◎ EPC価格競争力の追求：

- ・エンジニアリング・リソースのグローバル・ベストミックス
- ・中国を含むグローバル調達
- ・現地工事業者との関係強化

◎ グローバル・ネットワークの強化：

- ・ブラジル子会社の拡充
- ・現地エンジニア企業買収によるカナダ市場への進出

6. 成長に向けて

- ◎ ソフトサービス型案件の拡大
 - 顧客要求の変化への対応
- ◎ 資源分野・市場への取り組み強化
 - 必要な準備は整った
- ◎ 社会インフラ分野の拡大
 - 今期受注プロジェクトの実績を梃子に
更にアグレッシブな展開を目指す



【お問い合わせ先】

 **東洋エンジニアリング株式会社**

URL <http://www.toyo-eng.co.jp>

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜2-8-1

広報・IR室 IRマネージャー 佐久間和博

電話 047-454-1681

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。